

# 日本図書館情報学会会報

No. 151

2013年9月

日本図書館情報学会事務局

〒150-8366 東京都渋谷区渋谷 4-4-25

青山学院大学教育人間科学部教育学科野末研究室内

E-mail: office@jslis.jp

Website: <http://www.jslis.jp/>

ゆうちょ銀行 口座番号=00160-5-0045759 口座名義=日本図書館情報学会

ゆうちょ銀行 〇一九店 口座番号=当座 0045759 口座名義=日本図書館情報学会

## 2013年度臨時総会のお知らせ

会員各位

会長 根本 彰

2013年度日本図書館情報学会臨時総会を下記のとおり、第61回研究大会の第2日に開催いたしますので、ご案内申し上げます。会員各位におかれましては、多数ご出席くださいますようお願いいたします。なお、総会の議事終了後、同会場において2013年度学会賞・奨励賞・学会活動貢献賞の授与式を行います。

記

- 日時 2013年10月12日(日) 13:00~14:00  
会場 東京大学 本郷キャンパス 赤門総合研究棟1階第7教室  
議事 1. 2013年度定例(通信)総会の投票結果について(報告)  
2. 委員会活動について(報告)  
3. その他

## 2013年度定例(通信)総会の投票結果

有権者数 656  
投票総数 341(内訳: 郵送投票 91, 電子投票 250)  
有効投票数 341  
有効投票率 52.0%(参考: 2012年度有効投票率 48.8%)  
無効投票数 0

	賛	否	白票
第1号議案 2012年度事業報告	340	0	1
第2号議案 2012年度決算報告・会計監査報告	340	0	1

第3号議案	2013年度事業計画案	338	2	1
第4号議案	2013年度予算案	337	3	1

日本図書館情報学会規約第11条第1項(全正会員の5分の1)により総会は成立し、第11条2項(出席会員の過半数)により、全議案は承認され、成立しました。

#### 正会員から寄せられたご意見・ご質問

定例(通信)総会のご意見欄に、正会員各位から下記のようなご意見が寄せられました(複数の意見に一括して回答している場合があります)。ありがとうございます。今後の学会活動の参考とさせていただきます。(常任理事会)

- ・【意見】図書館情報学用語辞典の第4版の刊行を楽しみにしています。
- ・【意見】意見というよりも単なる感想です。2012年度に委員会としての支出が0だった、図書館情報学用語辞典第4版の編纂スケジュールがどうなるのか、気になりました。また、学会誌の販売への依存度が高い予算構造のままだと、この先運営が苦しくなるような気がします。学会史資料デジタル化特別委員会については、期待しつつ、デジタル化したあとどうするかがなかなか難しいと感じました。

→【回答】『図書館情報学用語辞典』第4版は、今年度中に発行予定です。予算構造については、ご意見を踏まえ、さらに検討を進めたいと思います。ありがとうございました。(常任理事会)

- ・【意見】優秀発表賞は年齢制限など若い、または学生の発表者が受賞しやすいものにした方がよいかと思えます。

→【回答】優秀発表賞は、若手の研究奨励というよりは、研究内容・発表手法に優れた発表を表彰し、このような発表を目指して欲しい、というメッセージとすることで、研究大会や研究集会における発表を全体的によりよくすることを意図しています。ただ、始めたばかりの賞ですので、ご意見を参考にさせていただき、今後のあり方を検討していきます。ご意見をありがとうございました。ちなみに、現時点では、研究委員会の内規として、受賞者は受賞後3年間はこの賞の対象者としないうことにいたしました。(研究委員会)

- ・【意見】検定試験のあり方に関する臨時委員会の答申に常任理事会として真摯に対応しているとは思えない。答申は規約の改定を求めているが、それに反対であるなら、検定試験を廃止する方向で検討を始めるべきではないのか。シンポジウムで図書館情報学の教育を取り上げるというだけでは不十分と考える。

- ・【意見】検定試験は社会的効用がないので廃止すべきだと思います。

→【回答】常任理事会としては、検定試験のあり方に関する答申(学会ウェブサイト参照)は、極めて重要であると受け止めております。規約改定は重大な事柄であることから、拙速に結論を出すのではなく、慎重かつ丁寧に議論する必要があると考え、図書館情報学教育特別委員会での議論も踏まえ、現在、常任理事会で議論を行い、秋の理事会に今後のための基本的提案を行う予定とされているところです。シンポジウムで取り上げるのみとするということでは決してありません。今後、さらに会員の皆さまからのご意見を伺いながら、結論を得たいと思っております。引き続き、ご理解、ご協力をいただければ幸いです。(常任理事会)

- ・【意見】日本図書館協会みたいにならないよう健全運営でお願いします。

・【意見】 いつもお世話になります。最少の経費で活動されていると思います。

→【回答】 ありがとうございます。無駄遣いをしないことはもちろんですが、そのうえで、今期は、学会の中核的な役割ともいえる「研究」の促進・支援に関わる活動（研究助成や大会・集会運営）にやや重点的に予算を遣うよう、心がけてまいりました。今後は、学会運営に関する臨時委員会の答申に基づいて、長期的に持続可能な運営方針を検討していくこととしています。（常任理事会）

・【意見】 公立図書館に役立つ活動を望みます。

・【意見】 武雄市立図書館について、図書館情報学の立場からきちんと調査を行い、肯定すべきことは肯定し、否定すべきことは否定することが、学会として必要ではないでしょうか。

→【回答】 図書館情報学のひとつの研究分野として公立図書館運営に資する活動を行うのは当然であり、今後もその方針でいく予定です。ただし、特定の自治体の運営に焦点を当てた検討を学会が自ら行うことはこれまでの運営方針とは一致していないと思います。もちろん、新しい公立図書館の経営形態を総括する議論として学会が取り上げることはあるかもしれません。また、会員の方でここを取り挙げて研究助成金を申請することや、研究して研究大会や春季研究集会で発表したり、論文を学会誌に掲載したりすることはもちろん歓迎です。（常任理事会）

・【意見】 この数年間、図書館情報学関係の教員募集が、特任などの専任でない「処遇」募集が図化しています。図書館情報学関係の大学院が増えましたが、このままでは、「入り口」があって「出口」なしの状況になりかねないと強い危惧を持っています。

→【回答】 今後の運営における参考とさせていただきます。ありがとうございました。（常任理事会）

・【意見】 一定期間以上会費未納会員は順次、退会処分にしていく由。では、一定期間とは具体的に何年なのでしょう。未納の会員が 408 人いるのではないとの由。では、未納の会員は何人いるのでしょうか。

→【回答】 現在、原則として 3 年間、会費未納の会員は退会処分としております。また、会費未納の詳細は次のとおりです（2013 年 3 月 31 日時点）。ただし、昨年度は会費のご請求が遅れたため、例年より多い数字となっております。下記で未納となっている会員の皆さまのうち、4 月 1 日以降に納入いただいているかたも多いことを、念のため申し添えます。（事務局）

未納期間	1 年	2 年	3 年	合計
名誉会員	0	0	0	1
正会員	204	69	22	295
学生会員	27	17	2	46
団体会員	8	0	0	8
賛助会員	2	1	0	3
合計	241	87	24	352

・【意見】 第 1 号議案と第 3 号議案において、議案では「事業報告」「事業計画」になっているのに、資料では「活動報告」「活動計画」になっていましたので、これはどうなのかな、と思いました。しかしこれらの差異は活動内容に影響しない微小なものであり、これを理由に「否」とするには及ばないことから、「賛」と投票することとしました。以後宜しくお願いいたします。

→【回答】 申し訳ありませんでした。今号にて訂正をさせていただきます。なお、いずれの箇所においても議案号数が付与されていることから、誤解の可能性は極めて少ないものと思われまので、字句訂正という処理とさせていただきます。（事務局）

- ・【意見】事務局業務の外部委託を進めることに関して大小のさまざまなご苦勞があると推測いたします。お疲れさまです。信頼できる委託先であれば、できるだけ多くの業務を外部委託し、次の事務局を依頼された方が引き受けやすい環境を作っていただければ、長期的に学会のためになると思います。
  - ・【意見】事務局の委託業務に関しては、昨年度は請求遅れなどのトラブルが残念ではありましたが、今年は軌道に乗り、スムーズに進みますように願っております。
  - ・【意見】事務処理の外注に伴う、処理の遅延・混乱の速やかな解決をお願いします。
  - ・【意見】学会事務局の運営お疲れ様です。今年度は役員選挙もあり、ますますお忙しくなることと存じますが、どうぞ宜しくお願いいたします。また、電子投票システムは大変簡単で便利に使わせていただいております。どうもありがとうございます。
- 【回答】ご理解、ご協力をありがとうございます。昨年度は、委託に伴う混乱から、ご迷惑、お手数をおかけしましたことについて、改めてお詫びいたします。おかげさまで、現在のところ、委託した会員・会費関連業務については、滞りなく進んでおります。特に会計処理・問合せ回答などについて、委託前と比べて迅速・的確な対応ができており、委託の効果が現れていると受け止めております。ただし、今年度は、委託の一年目であるため、現事務局と委託先とのあいだで業務手順をひとつひとつ確認・構築しながらの運営となっております。そのため、しばらくのあいだは、若干の“もたつき”や“行き違い”などが生じうる危険性もあることから、慎重・丁寧に運営を進めてまいります。会員の皆さまのご理解、ご協力を引き続き、よろしく願いたします。  
(事務局)
- 【回答】電子投票については、総務委員会にて管理・運営を担当しております。運用も軌道に乗り、会員の皆さまによる認識も広がったことから、今年度はついに5割を超え、過去最高の投票率となりました。今後も継続的・安定的な運営を進めてまいりたいと思います。  
(総務委員会)
- ・【意見】補足説明があり、わかりやすかったです。
- 【回答】次回以降も、よりわかりやすい議案書作成に心がけたいと思います。ありがとうございます。  
(常任理事会)

その他、役員・委員会・事務局への激励・謝辞などを多数、ちょうだいいたしました。ありがとうございました。なお、事務連絡が記入されている場合がありますが、必要に応じて個別に対応いたします。

## 2013年度研究助成の決定

2013年度の研究助成について9件の応募があり、研究委員会にて審議いたしました。

審査は、例年の手順・方法を踏襲し、予め評価基準を定めた基準に従って研究委員が採点した結果を総合して、助成対象を決定することにしました。評価は、申請者が特定されないよう、氏名等個人が特定される情報を伏せて、申請者名を知りうる立場にある委員長を外して行いました。

評価基準は科学研究費に準拠して、(1) 研究目的の明確さ、(2) 研究の独創性、(3) 遂行可能性、(4) 成果の公表可能性、(5) 申請金額の妥当性、(6) 研究組織の適切性、の6点を参考に、5段階で総合点をつけ、総合点の平均が3点以上を助成の最低基準としたうえで、議論の結果、下記の4点を助成対象としました。  
(研究委員会)

- (1) 研究代表者：池内有為（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）  
研究題目：研究データの分野別公開状況と阻害要因の分析  
助成額：293,620 円
- (2) 研究代表者：大場博幸（文教大学）  
研究題目：日本国内の図書館の蔵書調査：複本所蔵される書籍の属性、および図書館間の重複率と包含率  
助成額：225,000 円
- (3) 研究代表者：浅石卓真（東京大学大学院教育学研究科図書館情報学研究室）  
研究題目：知識の専門化に応じたメディアの表現の変化：中・高理科教科書の比較分析を通じて  
助成額：225,000 円
- (4) 研究代表者：山下聡子  
研究題目：定管理者制度導入時の地方公共団体構成員の図書館に対する認識と図書館運営の関係  
助成額：225,000 円

## 委員会名簿

### 学会賞選考委員会（委員の追加）

安形 輝（亜細亜大学）†

高嶽 裕樹（大阪教育大学）

野末俊比古（青山学院大学）

松林麻実子（筑波大学）†

山本 順一（桃山学院大学）\*

渡邊 隆弘（帝塚山学院大学）

（2013年8月末日時点，五十音順，\*印は委員長，†は抛職上の委員）

## 委員会・事務局より

### 『日本図書館情報学会誌』投稿募集

『日本図書館情報学会誌』の投稿先は以下の通りです。投稿は随時、受け付けています。投稿に際しては「投稿規程」と「執筆要綱」をご参照ください。 （編集委員会）

- ・ 投稿先：日本図書館情報学会編集委員会（[journal@jslis.jp](mailto:journal@jslis.jp)）
- ・ 投稿規程：[http://www.jslis.jp/journal/c\\_reg\\_100301.pdf](http://www.jslis.jp/journal/c_reg_100301.pdf)
- ・ 執筆要綱：[http://www.jslis.jp/journal/w\\_out\\_100601.pdf](http://www.jslis.jp/journal/w_out_100601.pdf)

### メールマガジン（編集・発行体制の拡充）について

総務委員会ではメールマガジンを編集・発行してまいりました。これまで、体制が必ずしも十分でなく、掲載希望の記事原稿をご送付いただいても、掲載が間に合わない場合がありました。関係者の皆さまには、この場をお借りして深くお詫びいたします。

総務委員会は、委員長を事務局長が兼務することとなっていることから、学会事務局の業務委託に伴う事務局体制整備の一環として、メールマガジンについても編集・発行体制の見直しを行いました。その結果、246号より、総務委員会と事務局の共同編集・発行とすることといたしました。

これにあわせて、掲載希望の記事原稿をなるべく遅滞なく掲載できるように、一定の頻度（半月に1回を目途）で発行することをめざします。また、掲載依頼に基づく記事を中心としていた編集方針をあ

らため、今後は学会（委員会・事務局など）の活動について、会員の皆さまにお伝えする記事も積極的に掲載してまいります。これは、定例総会などにおいて会員の皆さまからいただいた「学会活動の様子がわかりづらい」とのご意見などに対して、常任理事会において、会員の皆さまへの広報活動にもいっそう注力する方向性を確認したことを踏まえたものです。

なお、掲載希望記事原稿（非会員も可）は、当面、これまでと同様、総務委員会にて受付をいたしません（somu@jslis.jp）。また、メールマガジンの講読希望（学会会員に限る）につきましては、事務局にて受付をいたしております（office@jslis.jp）。なお、依頼をちょうだいしても掲載できない場合もありますことをご了承ください。

メールマガジンについてご意見やご質問などがありましたら、総務委員会（somu@jslis.jp）または学会事務局（office@jslis.jp）までお寄せください。会員の皆さまのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。（総務委員長・事務局長）

#### 会員情報変更・退会および今年度年会費納入について

住所等の変更については、学会ウェブサイトにあります「会員情報変更届」（[http://www.jslis.jp/membership\\_3.html](http://www.jslis.jp/membership_3.html)）にご記入いただき、事務局までお送りください。退会については特に書式はありませんので、退会理由を併記のうえ、事務局までご連絡ください（5月末日までに届出があった場合には、前年度末での退会として取り扱います）。

また、年会費につきましては、6月末発行の『日本図書館情報学会誌』とともにご請求を差し上げました（昨年度までに未納分がある場合は、今年度分と一緒にご請求を差し上げております）。会費納入がまだの皆さまは、早めのご納入にご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、会員情報や会費に関するお問合せは、下記までお願いいたします。（事務局）

日本図書館情報学会事務局 会員会費担当（担当：井手）

〒166-8532 東京都杉並区和田 3-30-22 大学生協学会支援センター内

Tel: 03-5307-1175 Fax: 03-5307-1196 E-mail: office@jslis.jp

※ 現在、会員名簿の発行準備中であることから、ご逝去による退会以外の会員異動情報については本誌への掲載を見送っております。ご了承ください。

※ 学会受領資料は、誌幅の関係上、次号以降にまとめて掲載いたします。

※ 本誌第150号に次のとおり誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

- ・ p.1 誤：2012年度活動報告 正：2012年度事業報告
- ・ p.6 誤：2013年度活動計画案 正：2013年度事業計画案
- ・ p.11 誤：2012年度活動報告 正：2012年度事業報告（2箇所）

#### お問合せ先

- ・ 研究助成、研究大会・集会、シリーズ出版物などについて……研究委員会（kenkyu@jslis.jp）
  - ・ 学会誌（編集）について……編集委員会（journal@jslis.jp）
  - ・ 国際交流活動などについて……国際委員会（intl@jslis.jp）
  - ・ ウェブサイト、メールマガジンなどについて……総務委員会（somu@jslis.jp）
  - ・ 会員情報、会費、学会誌（発送）、学会報などについて……事務局（office@jslis.jp）
- ※学会ウェブサイトもご覧ください（<http://www.jslis.jp>）